

ごみ減チャレンジ

おいそ廃棄物減量化等推進員とは
各地区から推薦された推進員が
地区に対して、ごみの分別や減量化の
指導及び普及啓発を行います。

● できることから始めよう！食品ロス削減！

食べ残し、売れ残りや期限が近いなど様々な理由で、食べられる食品が捨てられてしまう「食品ロス」。
私たちと一緒に『一人ひとりが食べ物を無駄なく、大切に使う』意識をもって
食品ロスの削減に取り組みましょう！

Interview

食品ロス削減のためにできる色々な工夫



毎週使う
可燃ごみのごみ袋が
45L → **10L**
35L分の削減に
成功！

自作できる！ごみの減量化ツール



▲ 自作した自然乾燥箱



▲ 乾燥箱での乾燥の様子



▲ 自作した段ボールコンポスター



どんな取り組みをされていますか？

もともと畑用にコンポスターを使っていましたが、
推進員になってからの取組みとして、自然乾燥箱や
段ボールコンポスターを自作しました。

自然乾燥箱で乾燥させた生ごみを、段ボールコン
ポスターとコンポスターにローテーションして投入
することで、生ごみをたい肥化させて自宅の鉢植え
などの土にしています。



どうやって作られたんですか？

乾燥箱は、端材と網戸の切れ端で作ったもので
すが、虫も入らず、空気の循環もできます。

私は、わが家の『ごみ担当』をしているので、三
角コーナーに集めた生ごみを選別して、自然乾燥箱
を使って乾燥させるようにしています。

毎朝20分程度かかりますが、その作業も朝の当
たり前の習慣として取り組んでいます。



使用するうえで苦慮されたことは？

置き場所を考えるのが難しいですね…。

我が家では庭に自然乾燥箱と段ボールコンポ
スターを設置していますが、移動時や臭いなどで不都合が
生じず、雨が直接当たらない置き場所を探すのは、
なかなか難しいことだと思います…。



どのぐらいの効果がありましたか？

生ごみをたい肥化させるだけでなく、チラシなど
の古紙類を資源回収してもらうことで、わが家の
ごみ量が劇的に減りました！

45Lのごみ袋を週1回出していたのが、毎週10Lの
ごみ袋で済むようになりました！

残った野菜を使った料理など、
食品ロス見直しレシピを
紹介しています。

詳しくは、クックパッド「消費者庁の公式キッチン」
<https://cookpad.com/kitchen/10421939>

消費者庁のキッチン

検索

スマートフォンから



ごみ収集カレンダーを
確認して、出し間違いが
ないようにしよう！

● 気を付けよう！ごみ出しのマナー！



▲カラス被害防止の取り組みをした
ごみの集積場（※重石など）

カラス被害などの問題を減らすには、一人ひとりの心がけが大切です！

〔こんな取り組みを見かけました！〕

- ネットの端には重石を置いたり、ネットの目を細かくするなどの工夫で、カラスがごみを取り出せないようにする。

〔こんなことに気を付けよう！〕

- 生ごみは、ネットの内側に！集積ボックスはしっかりフタを閉めよう！
草や葉はカラス被害がないので、ネットや集積ボックスの外側に置こう！
- 放火やごみの持ち去りを防ぐため、前日や夜中にごみを出さないようにしよう！

● ごみの減量化・資源化にご協力ください！



▲ ホワイトボードで
冷蔵庫の食品の在庫をチェック！

まずは、「私でもできる！」と思ったことを取り組みましょう！

- ホワイトボードで冷蔵庫の中身の「見える化」をして、ムダ買いを減らそう！
- 大根などの野菜の皮を厚めに剥いて、皮部分を漬物にリメイク！
自分だけのリメイク料理を作ってみよう！
- 生ごみは、水切りネットなどで水分を切ってから出そう！
- 白色トレイや古紙・古布など、「ごみ」をではなく「資源」として活用しよう！

2年間の活動を終えて



地球温暖化や資源の枯渇など、世界的に見ても環境問題は多岐にわたっています。

活動を通して、ごみの減量の意義や重要性を改めて認識するとともに、ごみの減量化を実現することの難しさも知りました。

各々が一番身近な家庭内のごみの減量に取り組み、一人ひとりが「ごみの減量化・資源化」への意識が向上するように努めるとともに、地域や住環境の違いを踏まえ、出されるごみの種類・特性などを把握し、地域に適した周知を継続的にしていく必要があると感じました。

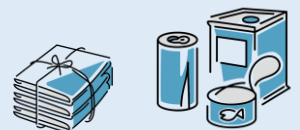


推進員になって、推進員同士で「ごみの減量化・資源化」などについて話し合うことができたのは貴重な経験でした。

他地区の話から、住居環境の違いで、ごみ集積場所の管理や分別の困難さが変わる、地域の問題だと理解できました。

自治体だけでなく、地域も考えて行動しないと進まない問題だと感じました。

今後も、学んだことを生かして、それらの問題の解決を後押しできるように活動しようと思います。



『ごみの出し方に困った…』そんな時は！

『ごみと資源の分け方・出し方ガイドブック』を確認しましょう！

町ホームページでは『50音分類表(詳細版)』を確認できます！

大磯 ごみの出し方

検索

